

第3回地域授業改善協議会

日時:平成30年11月15日(木) 14:10~16:30
会場:佐伯市立佐伯城南中学校
参加者(92名)

教職を目指す高校生が4名参加!

1年(理科)「光の性質」
山本武志教諭(学力向上支援教員)

公開授業



分科会

(協議1)「新大分スタンダード」の視点に基づく授業研究
(協議2)「生徒による授業評価」を活かした授業改善



高校生の声

「アンケートに回答したこと(教師への要望)が反映されるので、アンケートは、してほしいと思っています。」

参加者の感想

発展的な内容での課題の設定、まとめ方、勉強になりました。

各学校との意見交換がとても良かったです。高校生の声を聞けて良かったです。やはり、各校種、つながりをもたないと、思いました。

城南中学校の取り組みは、生徒の立場に立った取り組みで、学力だけでなく、あらゆる面から生徒を育成していく意気込みを強く感じました。

課題をつかむ時、小学校はゆっくり時間をかけて行い、まとめや習熟の問題をする時間がなくなる場合があります、どのようにするか考えていたので、課題をつかむのに時間をかけない授業は良かったです。

小中高の先生方が1つの单元について話し合うことの意義を感じました。また、別の单元でも参加したいと思います。

2年(数学)「平行と合同」
川野順子教諭(学力向上支援教員)

公開授業



分科会

(協議1)「新大分スタンダード」の視点に基づく授業研究
(協議2)「生徒による授業評価」を活かした授業改善



参加者の感想

本校でも生徒による授業評価をもとに、具体的にどうしていくか明確にしていきたい。

小中高の先生が参加し、視点を明確にして意見を出し合っていたので、自分の考えを深めるよい機会になりました。

生徒による授業評価は、小学校では項目が中学校のように具体的ではないので、教師自身が、客観的に自分の指導を振り返ることができていないので、大変参考になりました。

小・中学校の先生方の素直なご意見をきく貴重な場となりました。授業改善については、小学校・中学校現場から学ぶところが多分にあると思う。

授業評価を活かして、授業改善テーマ設定され、個人や教科部会で、前向きにチャレンジする姿勢が素敵だと思いました。3つの提言推進重点校8校の実践を広げるには、このような機会があるとありがたいです。

3年(英語)「尊敬する人物を魅力的に紹介しよう」
首藤康章教諭(習熟度別指導推進教員)
神田伸司指導教諭

公開授業



分科会

(協議1)「新大分スタンダード」の視点に基づく授業研究
(協議2)「生徒による授業評価」を活かした授業改善



高校生グループ
の様子

参加者の感想

小・中・高の生徒による授業評価の実施状況やどのように活用しているか交流があり大変ためになりました。

生徒の授業評価ということを小学校ではあまり行ってませんが、生徒の立場に立って授業を行うためには、小学校でもできる範囲でやっていくことも必要かと思いました。

高校の先生もいたので、小学校とは違う視点でのお話が聞いて参考になった。英語を英語で考えていくことの大切さを実感した。

授業に向かう姿勢について、授業だけでなく、日頃の指導の成果があらわれているものだと感じました。テンポよく英語の世界に生徒がひきこまれていくのが分かりました。

学校で取り組まれている「3つの提言」について説明があり、英語だけでなく生活指導に関わる面についても大切にされ、子どもたちの意欲を高めていることが分かった。授業評価を行い分析し、活用されているのが、今日の授業に出ていると思う。

教職を目指す高校生が、アクティブラーニングについて語り合う姿が印象的でした。